

北海道産の十脚甲殻類の分布リスト

駒井智幸・丸山秀佳・小西光一

A LIST OF DECAPOD CRUSTACEANS FROM HOKKAIDO,  
NORTHERN JAPAN

Tomoyuki KOMAI, Shuka MARUYAMA and Kooichi KONISHI

*Reprinted from*

Researches on Crustacea, No. 21

Carcinological Society of Japan

甲殻類の研究 第21号 別刷

December 1992

北海道産の十脚甲殻類の分布リスト

駒井智幸<sup>1</sup>・丸山秀佳<sup>2</sup>・小西光一<sup>3</sup>

<sup>1</sup>北海道大学水産学部, <sup>2</sup>北海道立稚内水産試験場, <sup>3</sup>養殖研究所

A LIST OF DECAPOD CRUSTACEANS FROM HOKKAIDO,  
NORTHERN JAPAN

Tomoyuki KOMAI<sup>1</sup>, Shuka MARUYAMA<sup>2</sup> and Kooichi KONISHI<sup>3</sup>

<sup>1</sup> Faculty of Fisheries, Hokkaido University, Hakodate 041,

<sup>2</sup> Hokkaido Wakkanai Fisheries Experimental Station, Wakkanai 097, and

<sup>3</sup> National Research Institute of Aquaculture, Nansei, Mie 516-01

**Abstract:** The present paper provides an annotated list of decapod fauna of Hokkaido, northern Japan, mainly based on previous biogeographical works. It includes 196 species ranging 40 families, and several new records to Hokkaido are recognized.

はじめに

北海道からの十脚甲殻類の動物相に関する報告は、これまでに地域的あるいは産業重要種を除けば少なく、道内全域にわたるまとまった知見は少ない。その中で比較的最近のものとしては故五十嵐孝夫博士による北海道大学水産学部水産資料館所蔵の標本に基づく目録がある(13~16)。しかしながらこれ以降20年以上が経過し、これらの動物相に関する新しいデータとして、たとえば武田・林(42)による道東の異尾・短尾類に関するものなどがあるが、十脚類全体にわたるまとまったリストは新たには公にされていない。一方では水産学上の見地などからもこのグループの動物相に関する新しい情報が必要となって来ている。

筆者らは1975年より道内各地での採集等の機会を通じてより多くの種類とより多くの地域での分布を確認して来た。そこで従来の文献データを基としつつ、これら新しい分布データも加えた形で北海道の十脚甲殻類のリストを作成した。さらにこれらの中で特に解説を必要とするグループについては注釈を加えた。

今回取りまとめた結果では、全体で196種がリストアップされた。その内訳は、いわゆるエビ類と総称されるものが13科29属92種、アナジャコ下目も含めた異尾下目が9科22属41種、短尾下目が18科48属63種であった。もちろんこのリストは完全なものではなく、今後データが増えるにしたがって追加、あるいは削除される可能性があるのは言うまでもない。また新たに確認した種については後日改めて分類学関係の雑誌に報告する予定である。

以下のリストでは学名, 和名, 記録のある主な産地の順に記した。産地名の後の ( ) 内の数字は根拠となる文献の番号であり, 今回新たに加えたものについては ( \* ) の記号で, また特に産地が原記載地である場合にはその事を示した。

Infraorder PENAEIDEA クルマエビ下目

Family Aristeidae チヒロエビ科

1. *Aristeus mabahissae* RAMADAN, 1938 ハクメイチヒロエビ  
大黒島沖 (19)

Family Benthescymidae オヨギチヒロエビ科

2. *Bentheogennema borealis* (RATHBUN, 1902) シンカイエビ  
太平洋沿岸 (2, 19), オホーツク沿岸 (2, 21)
3. *Gennadas incertus* (BALSS, 1927) スベスベツノチヒロエビ  
室蘭沖 ( \* )
4. *Gennadas parvus* BATE, 1881 スベスベチヒロエビ  
室蘭沖 ( \* )
5. *Gennadas propinquus* RATHBUN, 1906 チヒロエビモドキ  
厚岸沖 (19)

備考: 本科のエビ類はそのほとんどが中深層性で, 分布の中心も熱帯, 亜熱帯域にある。北海道では太平洋沿岸に出現し, 黒潮前線の影響を強く受けるものと考えられる。

Family Penaeidae クルマエビ科

6. *Metapenaeopsis dalei* (RATHBUN, 1902) キシエビ  
函館湾 (原記載地)
7. *Metapenaeopsis lamellata* (De HAAN, 1844) ホッコクエビ  
瀬棚沖 ( \* ), 宗谷岬沖 (原記載地)
8. *Penaeus (Melicertus) japonicus* BATE, 1888 クルマエビ  
新冠沖 (3)
9. *Trachypenaeus curvirostris* (STIMPSON, 1860) サルエビ  
余市 (13), 忍路 (13), 函館 (37), 虎杖浜 (13)

備考: クルマエビ類は温帯域から熱帯域の, 主として浅海域に分布し, 北海道沿岸では, 主に暖流の影響を受ける津軽海峡沿岸と日本海沿岸に出現する。

Family Sergestidae サクラエビ科

10. *Sergestes similis* HANSEN, 1903 キタノサクラエビ  
厚岸沖 (19)

備考: 本科のエビ類はそのほとんどが中層性で, 分布の広いものが多い。したがって今後調査がめば, 種類数が増えることが予想される。

Infraorder Caridea コエビ下目

Family Oplophoridae ヒオドシエビ科

1. *Acanthephyra eximia* SMITH, 1884 トゲヒオドシエビ  
大黒島沖 (19)

2. *Acanthephyra quadrispinosa* KEMP, 1939 サガミヒオドシエビ  
太平洋岸 (2, 19)
3. *Hymenodora frontalis* RATHBUN, 1902 マルヒオドシエビ  
太平洋岸 (2), オホーツク沿岸 (\*)

備考：本科のエビ類はその多くが中深層性である。

Family Pasiphaeidae オキエビ科

4. *Leptochela gracilis* STIMPSON, 1860 ソコシラエビ  
石狩湾 (5), 留萌沖 (5)
5. *Leptochela sydniensis* DAKIN & COLEFAX, 1940 マルソコシラエビ  
石狩湾 (5), 焼尻島 (5), 雄武 (5), 臼尻 (\*), 広尾沖 (\*)
6. *Parapasiphae sulcatifrons* SMITH, 1884 トサカオキエビ  
室蘭沖 (9)
7. *Pasiphaea tarda* KRÖYER, 1845 キタシラエビ  
道東沿岸 (19), 網走沖 (3)

Family Palaemonidae テナガエビ科

8. *Palaemon macrodactylus* (RATHBUN, 1902) ユビナガスジエビ  
サロマ湖 (\*), 厚岸 (\*)
9. *Palaemon pacificus* (STIMPSON, 1860) イソスジエビ  
産地不詳 (31)
10. *Palaemon paucidens* De HAAN, 1844 スジエビ (淡水産)  
道内各地の河川や湖沼 (18, 31)
11. *Palaemon serrifer* (STIMPSON, 1860) スジエビモドキ  
忍路 (13), 余市 (13), 江差 (\*), 函館湾 (13)

備考：テナガエビ類はこえび下目でも最も種類が多く、同定が難しいものが多いが、その多くが熱帯、亜熱帯域の浅海域、河川、および湖沼に分布している。北海道での出現はむしろ少なく、淡水性のスジエビを除き、暖流の影響を受ける地域に限られる。また、上記の中でユビナガスジエビは汽水域にも棲息する。

Family Pandalidae タラバエビ科

12. *Pandalopsis coccinata* URITA, 1941 ヒゴロモエビ  
室蘭沖 (13), 釧路沖 (原記載地), 網走沖 (\*)
13. *Pandalopsis glabra* KOBJAKOVA, 1936 ツヤモロトゲエビ  
網走沖 (3, 20)
14. *Pandalopsis japonica* BALSS, 1941 モロトゲアカエビ  
江差沖 (13), 瀬棚沖 (13), 道東沿岸 (25), 網走沖 (\*)
15. *Pandalopsis lamelligera* (BRANDT, 1851)  
サハリン (46)
16. *Pandalopsis mitsukurii* RATHBUN, 1902 ミツクリエビ  
室蘭 (原記載地) (31), 釧路 (13), 根室 (31), 尾岱沼 (\*)
17. *Pandalopsis ochotensis* KOBJAKOVA, 1936 オホーツクモロトゲエビ

## 網走沖 (20)

18. *Pandalus borealis* KRØYER, 1841    ホッコクアカエビ  
道内各地 (13, 19)
19. *Pandalus goniurus* STIMPSON, 1860    ベニスジエビ  
アニワ湾 (13)
20. *Pandalus gracilis* STIMPSON, 1860    コタラバエビ  
函館湾 (原記載地)
21. *Pandalus hypsinotus* BRANDT, 1851    トヤマエビ  
道内各地 (13)
22. *Pandalus kessleri* CZERNIAVSKI, 1878    ホッカイエビ  
道内各地 (13)
23. *Pandalus prensor* STIMPSON, 1860    スナエビ  
石狩湾 (\*), 臼尻 (\*), 根室 (13), 稚内 (\*)
24. *Pandalus tridens* RATHBUN, 1902    タラバエビ  
恵山沖 (\*), 広尾沖 (19)

備考: IGARASHI はスナエビを *Pandalus meridionalis* BALSS, 1941 の名で報告している (13)。なお, 三宅 (31) により本種として報告されたものは, *P. gracilis* である (8)。また本科のエビ類は中~大型種が多く, 上記の多くも, 漁獲対象とされている。上記の中で *Pandalopsis lamelligera* とベニスジエビは北海道本島からの記録が無いが, 三宅 (31) も日本産リストに登載しているので, ここでもリストに加えた。

## Family Hippolytidae モエビ科

25. *Birulia sachalinensis* BRASHNIKOV, 1903  
増毛沖 (13), 興部 (\*)
26. *Eualus biungius* (RATHBUN, 1902)    ハサミモエビ  
増毛沖 (13), えりも岬東方 (19), 網走沖 (\*)
27. *Eualus bulychevae* KOBJAKOVA, 1955    キクチモエビ  
稚内 (\*)
28. *Eualus fabricii* (KRØYER, 1841)    ヤイバツノモエビ  
島牧沖 (13), 大津沖 (19), 稚内 (\*)
29. *Eualus gracilirostris* (STIMPSON, 1860)    ホソツノモエビ  
臼尻 (\*)
30. *Eualus kuratai* MIYAKE & HAYASHI, 1967    クラタモエビ  
増毛沖 (16), 島牧沖 (16), 恵山沖 (\*)
31. *Eualus leptognathus* (STIMPSON, 1860)    ヤマトモエビ  
函館 (\*), 有珠 (16), 噴火湾 (16), 尾岱沼 (16)
32. *Eualus macilentus* (Krøyer, 1841)    マルツノモエビ  
島牧沖 (13)
33. *Eualus middendorffii* BRASHNIKOV, 1907    キタツノモエビ  
増毛沖 (13), 噴火湾 (13), えりも岬東方 (19)

34. *Eualus sinensis* (YU, 1931) イソモエビ  
江差 (16), 函館 (16), 臼尻 (16)
35. *Eualus spathulirostris* (YOKOYA, 1933) ヨコヤツノモエビ  
噴火湾 (\*), 稚内 (\*)
36. *Heptacarpus camtchaticus* (STIMPSON, 1860) カムチャッカモエビ  
函館湾 (\*)
37. *Heptacarpus flexus* (RATHBUN, 1902) チシマモエビ  
稚内沖 (\*)
38. *Heptacarpus geniculatus* (STIMPSON, 1860) コシマガリモエビ  
増毛沖 (13), 忍路 (13), 島牧沖 (13), 函館湾 (原記載地)
39. *Heptacarpus grebnitzkii* (RATHBUN, 1902) クサイロモエビ  
函館 (31), 室蘭 (31), 野付岬 (31), 根室 (31), 噴火湾 (13)
40. *Heptacarpus igarashii* HAYASHI & CHIBA, 1989 イガラシトゲツノモエビ  
噴火湾 (11)
41. *Heptacarpus jordani* (RATHBUN, 1902) ショルダントゲツノモエビ  
函館湾 (原記載地), 茂辺地 (\*), 松前 (\*)
42. *Heptacarpus pandaloides* (STIMPSON, 1860) ツノモエビ  
函館湾 (原記載地), 有珠 (16), 野付岬 (7)
43. *Heptacarpus rectirostris* (STIMPSON, 1860) アシナガモエビモドキ  
函館湾 (原記載地)
44. *Latreutes acicularis* ORTMANN, 1890 ホソモエビ  
函館湾 (4)
45. *Latreutes planirostris* (De HAAN, 1844) ヒラツノモエビ  
函館湾 (37, 39)
46. *Lebbeus brandti* (BRASHNIKOV, 1907) チャイロモエビ  
釧路沖 (10)
47. *Lebbeus fasciatus* KOBJAKOVA, 1936 シマモエビ  
厚岸 (10, 31)
48. *Lebbeus grandimanus* (BRASHNIKOV, 1907) ヤドリイバラモエビ  
湧別沖 (\*)
49. *Lebbeus groenlandicus* (FABRIBIUS, 1775) イバラモエビ  
武蔵堆 (13), 島牧沖 (13), 釧路沖 (13)
50. *Lebbeus kuboii* HAYASHI, 1992  
桧山沖 (原記載地)
51. *Lebbeus longipes* KOBJAKOVA, 1936 アシナガイバラモエビ  
増毛沖 (10), 松前沖 (\*)
52. *Lebbeus speciosus* (URITA, 1942) カラフトシマモエビ  
臼尻 (\*), 厚岸 (31)
53. *Lebbeus unalaskensis* (RATHBUN, 1902)

- 網走沖 (10), 武蔵堆 (\*)
54. *Spirontocaris arcuatoides* KOBJAKOVA, 1962  
函館湾 (\*), 臼尻 (\*)
55. *Spirontocaris brashnikovi* KOBJAKOVA, 1936 アマモトゲモエビ  
根室 (31)
56. *Spirontocaris murdochi* RATHBUN, 1902 ユビナガトゲモエビ  
噴火湾 (6), 道東沿岸 (19), 北見紋別 (6)
57. *Spirontocaris ochotensis* (BRANDT, 1851) オホーツクトゲモエビ  
函館 (6), 噴火湾 (13), 昆布森 (\*), 稚内 (\*)
58. *Spirontocaris pectinifera* (STIMPSON, 1860) トゲトゲモエビ  
函館湾 (原記載地)
59. *Spirontocaris prionota* (STIMPSON, 1864) ムツトゲモエビ  
函館 (\*), 臼尻 (\*)
60. *Spirontocaris phippii* (KROYER, 1841)  
根室 (4)
61. *Spirontocaris spinus* (SOWERBY, 1805) トゲモエビ  
増毛沖 (13), 広尾沖 (19), 網走沖 (6), 北見紋別 (19)

備考：ホソツノモエビの名で報告されて来たものの多くは、実際にはイソモエビであると考えられる。IGARASHI (16) によってカムチャッカモエビと同定された標本は、額角の上縁前半部に歯が無いことから、別種と考えられる。HAYASHI (7) が報告したチシマモエビの標本は千島列島のシュムシュ島から採集されたものであり、北海道本島からの記録はこれが最初であると思われる。IGARASHI (13) で報告されたコシマガリモエビの標本は、本種としては第3腹節の隆起が弱く、同著者が (16) でカムチャッカモエビとして報告したものと同一種である可能性が高い。*Spirontocaris phippii* については DOFLEIN (4) による記録以後、本邦からの記録は無い。また IGARASHI (13) は *Spirontocaris spinus* を *S. brevidigitata* KOBJAKOVA, 1935 の名で報告している。

Family Alpheidae テッポウエビ科

62. *Alpheus brevicristatus* De HAAN, 1844 テッポウエビ  
函館湾 (34)
63. *Alpheus distinguendus* De MAN, 1909 オニテッポウエビ  
石狩湾 (\*)
64. *Alpheus japonicus* MIERS, 1879 テナガテッポウエビ  
忍路 (13), 石狩湾 (13)

備考：テッポウエビ類は、テナガエビ科同様、熱帯、亜熱帯域で良く分化しており、北海道での出現は暖流の影響を受ける所に限られるようである。

Family Crangonidae エビジャコ科

65. *Argis lar* (OWEN, 1839) クロザコエビ  
道内各地 (13)

66. *Argis dentata* (RATHBUN, 1902) トゲザコエビ  
増毛沖 (13), 島牧沖 (13)
67. *Argis ovifer* (RATHBUN, 1902) トゲクロザコエビ  
北見大和堆 (3)
68. *Crangon affinis* De HAAN, 1849 エビジャコ  
石狩湾 (13), 忍路 (13), 函館 (13), 厚岸湾 (\*), 尾岱沼 (\*), サロマ湖 (\*)
69. *Crangon dalli* RATHBUN, 1902 ミゾエビジャコ  
石狩湾 (13), 島牧沖 (13), 噴火湾 (13), 釧路沖 (\*)
70. *Crangon hakodatei* RATHBUN, 1902  
函館湾 (原記載地)
71. *Crangon propinquus* STIMPSON, 1860  
厚岸 (\*)
72. *Metacrangon angusticauda* (De HAAN, 1849) トゲエビジャコ  
函館湾 (31)
73. *Metacrangon robusta* KOBJAKOVA, 1935  
北見紋別 (13)
74. *Neocrangon abyssorum* (RATHBUN, 1902) チヒロソコエビジャコ  
えりも岬東方 (19)
75. *Neocrangon communis* (RATHBUN, 1899) フタトゲエビジャコ  
増毛沖 (13), 島牧沖 (13), 北見紋別 (13), 道東沿岸 (19)
76. *Paracrangon echinata* DANA, 1852 カジワラエビ  
島牧沖 (13), 噴火湾 (13), 虎杖浜沖 (13), 釧路沖 (13), 稚内 (\*)
77. *Sclerocrangon boreas* (PHIPPS, 1774) キタザコエビ  
臼尻 (\*), 釧路沖 (13), 北見紋別沖 (\*), 猿払 (\*)
78. *Sclerocrangon derjugini* KOBJAKOVA, 1937 オホーツクキジンエビ  
網走沖 (20)
79. *Sclerocrangon igarashii* KOMAI & AMAOKA, 1991 コウタカキジンエビ  
釧路沖 (原記載地)
80. *Sclerocrangon sarebrosa* (OWEN, 1839) キジンエビ  
北見紋別沖 (13)

備考：BABA et al. (3) により網走沖から *A. ovifer* として報告されているものは、トゲザコエビと同一である可能性が高い。また従来、*A. dentata* と同定されてきたアジア側の種が真の *A. dentata* と同一であるかどうか不明であり、再検討が必要と考えられる。エビジャコには多くのシノニムがあるが、それらの分類学的位置については未だ結論が出ていない。チヒロソコエビジャコは YOKOYA (47) により、日本南部沿岸から報告されていたが、本種とは別種である可能性が高い (19)。また IGARASHI (13) によって報告された、ガスエビ (*S. gasuyebi* YOKOYA, 1933) は標本を再検討した結果、キジンエビと同一であることが判明した (21)。さらに、原記載から判断する限りではガスエビはキジンエビのシノニムである可能性が高いことが指摘

されている。

Infraorder ASTACIDEA ザリガニ下目

Family Astacidae ザリガニ科

1. *Pasifastacus trowbridgii* (STIMPSON, 1857) ウチダザリガニ  
摩周湖 (31)

Family Cambaridae アメリカザリガニ科

2. *Camaroides japonicus* (De HAAN, 1841) ザリガニ  
道内各地の湖沼 (31)

備考：上記2科はすべて淡水産で、ウチダザリガニは1930年に北海道水試が移入したものである。

Infraorder THALSSINIDEA アナジャコ下目

Family Axiidae アナエビ科

1. *Axiopsis princeps* (BOAS, 1880) ジュズヒゲアナエビ  
忍路 (14), 上磯 (14), 噴火湾 (\*)

備考：このグループの幼生はしばしばプランクトン中で見られるのに対し(25), 成体が完全な形で採集される事が極めて少ない。恐らく生活形態などが関係していると思われる。アナエビ科は、エビとヤドカリの中間的な存在であるアナジャコ下目のグループに属し系統分類上興味深い対象であるので、今後の研究が待たれる。

Family Upogebiidae アナジャコ科

2. *Upogebia major* (De HANN, 1849) アナジャコ  
忍路 (14), 函館 (14), 有珠 (36), 厚岸 (42, 44)

Family Callianassidae スナモグリ科

3. *Callianassa japonica* ORTMANN, 1892 ニホンスナモグリ  
木古内 (32), 有珠 (36), 噴火湾 (38)
4. *Callianassa petalura* STIMPSON, 1860 スナモグリ  
忍路 (14), 木古内 (28), 函館 (38), 有珠 (\*)

Infraorder ANOMURA 異尾下目

Family Diogenidae ヤドカリ科

1. *Clibanarius japonicus* RATHBUN, 1902 ニホンヨコバサミ  
室蘭 (原記載地)
2. *Diogenes spinifrons* (De HAAN, 1849) トゲトゲツノヤドカリ  
函館湾 (\*)
3. *Paguristes digitalis* STIMPSON, 1858 ヤスリヒメヨコバサミ  
忍路 (14), 茂戸地 (14), 函館 (原記載地), 有珠 (36)
4. *Paguristes japonicus* MIYAKE, 1963 ブチヒメヨコバサミ  
函館湾, 噴火湾 (\*)
5. *Paguristes ortmanni* MIYAKE, 1978 ケブカヒメヨコバサミ  
忍路 (14), 噴火湾 (14), 木古内 (29)

備考：ニホンヨコバサミの原記載は雌1個体のみに基づいており、属の同定を誤っている可

能性が高い。原記載はプチヒメヨコバサミのものと良く一致する。

Family Paguridae    ホンヤドカリ科

6. *Elassochirus cavimanus* (MIERS, 1879)    ゴトウホンヤドカリ  
噴火湾 (14), 有珠 (36), 広尾沖 (42), 厚岸 (14)
7. *Labidochirus anomalus* (BALSS, 1913)    ニホンサメハダホンヤドカリ  
津軽海峡 (31), 臼尻 (\*)
8. *Labidochirus splendescens* (OWEN, 1839)    サメハダホンヤドカリ  
北見沖 (14), エトロフ (14)
9. *Pagurus brachiomastus* (THALLWITZ, 1892)    イクビホンヤドカリ  
噴火湾 (14), 函館 (14), 襟裳 (14), 広尾沖 (42), 厚岸 (44)
10. *Pagurus constans* (STIMPSON, 1859)    イガグリホンヤドカリ  
木古内 (31), 渡島当別 (14), 臼尻 (\*)
11. *Pagurus dubius* (ORTMANN, 1892)    ユビナガホンヤドカリ  
忍路 (14, 17, 45), 積丹 (45), 臼尻 (14)
12. *Pagurus geminus* McLAUGHLIN, 1976    ホンヤドカリ  
忍路 (14, 17, 45), 臼尻 (14), 函館 (14)
13. *Pagurus gracilipes* (STIMPSON, 1858)    ハダカホンヤドカリ  
忍路 (14), 函館 (14), 臼尻 (\*)
14. *Pagurus hirsutiusculus* (DANA, 1851)    エゾホンヤドカリ  
津軽海峡 (47)
15. *Pagurus lanuginosus* De HAAN, 1849    ケアシホンヤドカリ  
忍路 (17, 45), 積丹 (45), 有珠 (\*), 木古内 (29)
16. *Pagurus middendorffii* BRANDT, 1851    テナガホンヤドカリ  
忍路 (14, 17, 45), 臼尻 (14), 木古内 (31), 厚岸 (44), 網走 (\*), その他道  
内各地
17. *Pagurus obtusifrons* (ORTMANN, 1892)    タンカクホンヤドカリ  
津軽海峡 (31)
18. *Pagurus ochotensis* (BRANDT, 1851)    オホーツクホンヤドカリ  
忍路 (14), 噴火湾 (14), 北見沖 (14), 有珠 (36), 広尾沖 (42), 厚岸 (14,  
44)
19. *Pagurus pectinatus* (STIMPSON, 1858)    カイメンホンヤドカリ  
忍路 (14), 函館 (14), 噴火湾 (14), 広尾沖 (42), 厚岸 (44), その他道内各  
地
20. *Pagurus rathbuni* (BENEDICT, 1892)    ラスバンホンヤドカリ  
北見沖 (14), 十勝 (14), 臼尻
21. *Pagurus trigonocheirus* (STIMPSON, 1858)    ミツカドホンヤドカリ  
忍路 (14), 北見沖 (14), 襟裳 (14), 広尾沖 (42), その他道内各地

備考：本科の中で、ホンヤドカリ属は種類も多く、分類学的にも問題があるものが少なくな  
い。北海道産のものでは、YOKOYA (47) によって報告されたエゾホンヤドカリとタ

シカクホンヤドカリがその棲息が確認されておらず、誤同定である可能性が高い。ちなみに分布の中心は前者が北米太平洋岸、後者が南日本の太平洋岸にある。

Family Lithodidae タラバガニ科

22. *Dermaturus mandtii* BRANDT, 1850 シワガニ  
広尾沖 (42), 厚岸 (14, 30, 44), 苫小牧沖 (\*)
23. *Hapalogaster dentata* (De HAAN, 1844) ヒラトゲガニ (イボトゲガニ)  
忍路 (17, 45), 木古内 (32), 函館 (14), 渡島当別 (14), 有珠 (14), 宗谷 (\*)
24. *Hapalogaster grebnitzkii* (SCHALFEEW, 1892) ショウジョウガニ  
広尾沖 (42), 厚岸 (14, 30, 44)
25. *Oedignathus inermis* (STIMPSON, 1860) イボガニ  
忍路 (14, 45), 木古内 (32), 函館 (14, 45), 積丹 (45), 有珠 (36), 利尻 (\*)
26. *Cryptolithodes expansus* MIERS, 1879 メンコガニ  
木古内 (28), 函館 (14), 利尻 (\*), 湧別 (\*)
27. *Lithodes aequispina* BENEDICT, 1894 イバラガニモドキ  
北見沖 (14), 釧路 (14, 42), 網走沖 (\*)
28. *Lithodes couesi* BENEDICT, 1894 キタイバラガニ  
釧路 (40), 網走沖 (20)
29. *Paralithodes brevipes* (H. MILNE-EDWARDS & LUCAS, 1841) ハナサキガニ  
釧路 (31), 厚岸 (42, 44), 根室 (14), オホーツク海 (31), 利尻 (31), 礼文 (31), 常呂 (\*)
30. *Paralithodes camtschaticus* (TILETIUS, 1815) タラバガニ  
襟裳 (31), 釧路 (14), 厚岸 (42), 根室 (42), 北見沖 (14), オホーツク海 (31), 礼文沖 (\*), 小平 (\*)
31. *Paralithodes platypus* (BRANDT, 1850) アブラガニ  
北見沖 (14), オホーツク海 (31),
32. *Paralomis multispina* (BENEDICT, 1894) エゾイバラガニ  
噴火湾 (\*), 釧路 (14), オホーツク (20), 網走沖 (\*), 北見大和堆 (\*)
33. *Paralomis verrilli* (BENEDICT, 1894) ゴカクエゾイバラガニ  
エトロフ (14), 根室 (40), 釧路 (31), 網走沖 (20),
34. *Sculptolithodes derjugini* MAKAROV, 1934 エリタラバガニ  
昆布森沖 (16), 紋別 (40), 湧別 (\*), 利尻 (43)

Family Galatheididae コシオリエビ科

32. *Galathea orientalis* STIMPSON, 1858 トウヨウコシオリエビ  
函館 (原記載地) (31)
33. *Galathea pubescens* STIMPSON, 1858 ケブカコシオリエビ  
函館 (原記載地) (30)
34. *Munida japonica* STIMPSON, 1858 チュウコシオリエビ

北日本 (30, 35), 津軽海峡 (31)

Family Porcellanidae カニダマシ科

35. *Pachycheles stevensii* STIMPSON, 1858 コブカニダマシ  
忍路 (16), 木古内 (32), 臼尻 (\*), 有珠 (36), 厚岸 (\*), 利尻 (\*)

Family Albuneidae クダヒゲガニ科

36. *Blepharipoda liberata* SHEN, 1949 フシメクダヒゲガニ  
余市 (31)

37. *Lophomastix japonica* (DURUFLÉ, 1889) キタクダヒゲエビ  
忍路 (14, 31), 有珠 (36), 広尾沖 (42), 厚岸 (31, 44), 斜里 (\*), ウトロ  
(31), 雄武 (\*)

Infraorder BRACHYURA 短尾下目

Family Dromiidae カイカムリ科

1. *Dromia dehaani* RATHBUN, 1923 カイカムリ  
忍路 (17), 函館 (40)
2. *Petalomera wilsoni* (FULTON & GRANT, 1902) ワタゲカムリ  
産地不詳 (35), 松前 (\*)

Family Tymolidae マメヘイケガニ科

3. *Tymolus japonicus* STIMPSON, 1858 マメヘイケガニ  
函館 (原記載地), 有珠 (36)

Family Latreillidae ミズヒキガニ科

4. *Eplumura phalangium* (De HAAN, 1839) ミズヒキガニ  
津軽海峡 (15)

Family Raninidae アサヒガニ科

5. *Lyreidus tridentatus* De HAAN, 1841 ビワガニ  
函館湾 (\*)

Family Dorippidae ヘイケガニ科

6. *Paradorippe granulata* (De HAAN, 1841) サメハダヘイケガニ  
忍路 (17, 45), 函館 (40), 利尻 (\*), オホーツク海 (雄武~ウトロ) (\*)

Family Calappidae

7. *Matuta planipes* FABRICIUS, 1798 アミメキンセンガニ  
函館湾 (\*)

Family Leucosiidae コブシガニ科

8. *Ebalia tuberculosa* (A. MILNE-EDWARDS, 1873) ヤマトエバリア  
函館 (15)
9. *Philyra kanekoi* SAKAI, 1934 カネココブシ  
函館湾 (\*)
10. *Philyra syndactyla* ORTMANN, 1892 ヒラコブシ  
根室 (40)

Family Majidae クモガニ科

11. *Chionoectes bairdi* RATHBUN, 1924 オオズワイガニ  
噴火湾 (12, 15), 登別沖 (12, 15), 広尾沖 (42), 北見沖 (12, 15), 庶野沖 (\*), 釧路沖 (\*)
12. *Chionoectes japonicus* RATHBUN, 1932 ベニズワイガニ  
釧路 (15), 広尾沖 (42), 礼文沖 (\*), その他道内各地
13. *Chionoectes opilio* (O. FABRICIUS, 1788) ズワイガニ  
忍路 (15, 17), 噴火湾 (15), 北見沖 (15), 広尾沖 (42), 厚岸 (15)
14. *Chorilia longipes japonica* (MIERS, 1879) コツノガニ  
津軽海峡 (\*), 噴火湾 (\*)
15. *Hyas coarctatus alutaceus* BRANDT, 1851 ヒキガニ  
増毛 (15), 忍路 (15), 広尾沖 (42), 大楽毛 (15), 北見沖 (15), 雄武 (\*)
16. *Oregonia gracilis* DANA, 1851 ケセンガニ  
広尾沖 (42), 大楽毛 (15, 42), 北見紋別 (15), 厚岸 (31), その他道内各地
17. *Pisoides bidentatus* (A. MILNE-EDWARDS, 1873) オオトガリガニ  
忍路 (15), 函館 (15), 広尾沖 (42), 厚岸 (\*), 臼尻 (\*), 雄武 (\*)
18. *Pugettia incisa* (De HAAN, 1837) ヤハズモガニ  
函館 (40)
19. *Pugettia quadridens intermedia* SAKAI, 1938 ヨツハモドキ  
産地不詳 (27)
20. *Pugettia quadridens quadridens* (De HAAN, 1837) ヨツハモガニ  
忍路 (15, 45), 木古内 (32), 渡島当別 (15), 臼尻 (15), 有珠 (36), 釧路 (42), 厚岸 (44), オホーツク海 (\*)
21. *Scyra compressipes* STIMPSON, 1857 ヒラツノガニ  
利尻 (\*), 噴火湾 (\*), 大楽毛 (42)
- Family Hymenosomatidae ヤワラガニ科
22. *Halicarcinus orientalis* SAKAI, 1932 トウヨウヤワラガニ  
函館 (\*)
23. *Trigonoplax unguiformis* (De HAAN, 1839) ソバガラガニ  
産地不詳 (35)
- Family Parthenopidae ヒシガニ科
24. *Parthenope (Platylambrus) valida* De HAAN, 1873 ヒシガニ  
函館 (\*)
- Family Atelecyclidae クリガニ科
25. *Erimacrus isenbeckii* (BRANDT, 1848) ケガニ  
噴火湾 (15), 有珠 (36), 厚岸 (44), 北見沖 (15)
26. *Telmessus acutidens* (STIMPSON, 1858) トゲクリガニ  
忍路 (45), 木古内 (32), 函館 (15), 噴火湾 (15)
27. *Telmessus cheiragonus* (TILESIUS, 1812) クリガニ  
北見紋別 (15), 襟裳 (15), 厚岸 (35)

28. *Trachycarcinus balssi* RATHBUN, 1932 ツノクリガニ  
千島列島 (占守島) (原記載地) (40)

## Family Cancridae イチョウガニ科

29. *Cancer amphioetus* RATHBUN, 1898 コイチョウガニ  
忍路 (15, 17, 45), 高島 (33), 積丹 (45), 木古内 (32), 臼尻 (15), 有珠 (\*), 雄武 (\*)
30. *Cancer gibbosulus* (De HAAN, 1833) イボイチョウガニ  
高島 (33), 忍路 (\*), 雄武 (\*)
31. *Cancer magister* DANA, 1852 ホクヨウイチョウガニ  
釧路 (1)

## Family Portunidae ワタリガニ科

32. *Charybdis (Gonioneptunus) bimaculata* (MIERS, 1886) フタホシイシガニ  
函館 (\*)
33. *Charybdis (Charybdis) japonica* (A. MILNE-EDWARDS, 1861) イシガニ  
忍路 (17, 45), 木古内 (32), 函館 (15)
34. *Liocarcinus corrugatus* (PENNANT, 1777) シワガザミ  
函館湾 (\*)
35. *Ovalipes punctatus* (De HAAN, 1833) ヒラツメガニ  
忍路 (15, 45), 有珠 (36)
36. *Portunus (Portunus) trituberculatus* (MIERS, 1876) ガザミ  
忍路 (45), 上磯 (15), 室蘭 (35), 大楽毛 (42)
37. *Scylla serrata* (FORSKÅL, 1755) ノコギリガザミ  
木古内 (32)
38. *Thalamita sima* H. MILNE-EDWARDS, 1834 フタハベニツケガニ  
函館 (\*)

備考：ワタリガニ類は主に日本海側の暖流域に沿って少産する。南方系種のノコギリガザミについては、木古内からの記録1例があるのみである。

## Family Xanthidae オウギガニ科

39. *Gaillardiiellus orientalis* (ODHNER, 1925) ケブカアワツブガニ  
忍路 (15)
40. *Medaeops granulatus* (HASWELL, 1882) スエヒロガニ  
忍路 (41)
41. *Pilumnus minutus* De HAAN, 1833 ヒメケブカガニ  
忍路 (15), 函館湾 (\*)

備考：本科は道内では稀産種である。

## Family Goneplacidae エンコウガニ科

42. *Carcinoplax longimana* (De HAAN, 1833) エンコウガニ  
函館 (40)

## Family Pinnotheridae カクレガニ科

43. *Pinnaxodes mutuensis* SAKAI, 1939 ムツピンノ  
木古内 (28), 臼尻 (22), 室蘭 (22), 日高地方 (40), 厚岸 (22, 42), 網走 (26), 根室 (\*), 雄武 (26), 興部 (26), 稚内 (\*)
44. *Pinnixa rathbuni* SAKAI, 1934 ラスバンマメガニ  
石狩湾 (\*), 噴火湾 (\*), 厚岸 (\*), 国縫 (\*), 雄武沖 (\*)
45. *Pinnixa tumida* STIMPSON, 1898 シロナマコガニ  
函館 (原記載地), 室蘭 (\*), 苫小牧 (\*), 豊富沖 (\*), 釧路 (\*)
46. *Pinnotheres pholadis* De HAAN, 1837 カギツメピンノ  
忍路 (15, 17), 積丹 (45)
47. *Pinnotheres sinensis* SHEN, 1932 オオシロピンノ  
余市 (33), 忍路 (15, 22), 泊 (\*), 寿都 (\*), 有珠 (15, 22)
48. *Sakaina japonica* SERÈNE, 1964 ニホンマメガニタマシ  
忍路 (41), 木古内 (22, 29), 江差 (43)
49. *Sakaina yokoyai* (GLASSELL, 1933) ヨコヤマメガニダマシ  
雄武沖 (26, 43), 興部 (26, 43), 稚内 (43), 苫小牧沖 (43)

備考: 二枚貝の外殻腔内に棲息するという特異な生態のものが多い。過去の文献にカギツメピンノの報告がしばしば見られるが, これらは外見上形態の似ている, 別属のムツピンノとの誤同定である可能性が高い。但し稀にはあるが, 忍路湾ではカギツメピンノのゾエア幼生がプランクトンとして採集される (23)。

Family Ocypodidae スナガニ科

50. *Deiratonotus cristatus* (De MAN, 1895) アリアケモドキ  
有珠 (36), 藻琴湖 (\*)
51. *Macrophthalmus japonicus* (De HAAN, 1835) ヤマトオサガニ  
産地不詳 (35)
52. *Ocypode* sp. スナガニの一種  
有珠 (36)
53. *Scopimera globosa* De HAAN, 1835 コメツキガニ  
有珠 (36)

備考: 有珠湾からのコメツキガニの報告について, 現在ではその棲息は確認出来なかった。ただし本種に該当すると思われるカニがかつては一部の干潟域に見られたという事である。

Family Grapsidae イワガニ科

54. *Acmaeopleura toriumii* TAKEDA, 1974 トリウミアカイソモドキ  
函館湾 (\*)
55. *Cyclograpsus intermedius* ORTMANN, 1894 アカイソガニ  
奥尻 (15)
56. *Eriocheir japonicus* De HAAN, 1835 モクズガニ (淡水産, 両側回遊性)  
忍路 (15), 函館 (15), 上磯 (15), その他道内各地 (33)
57. *Gaetice depressus* (De HAAN, 1833) ヒライソガニ

- 忍路 (17, 41, 45), 木古内 (32), 渡島当別 (15), 函館 (15), 有珠 (36), 網走 (\*), 利尻 (33)
58. *Helice tridens* De HAAN, 1835 アシハラガニ  
産地不詳 (35)
59. *Hemigrapsus longitarsus* (MIERS, 1879) スネナガイソガニ  
忍路 (40)
60. *Hemigrapsus penicillatus* (De HAAN, 1835) ケフサイソガニ  
忍路 (15, 17, 41, 45), 臼尻 (\*), 函館湾 (\*), 厚岸 (42, 44), サロマ湖 (33), 雄武 (\*)
61. *Hemigrapsus sanguineus* (De HAAN, 1835) イソガニ  
忍路 (15, 17, 41, 45), 積丹 (45), 木古内 (32), 函館 (15), 有珠 (36), 広尾沖 (42), 厚岸 (44), 利尻 (33)
62. *Pachygrapsus crassipes* RANDALL, 1840 イワガニ  
函館 (15),
63. *Planes cyaneus* DANA, 1851 オキナガレガニ  
広尾沖 (42)

以上の他には、これまでにしばしばサワガニ棲息の報告があるが、モクズガニの幼個体との誤認または道外から人為的に持ち込まれたものである可能性が否定出来ない。いずれにしても標本が残されていないので判断は出来ない。

## 謝 辞

本リストの作成に当たり、日頃ご指導を賜っている北海道大学水産学部の尼岡邦夫教授、ならびにモエビ類に関して貴重な情報を提供して下さった水産大学校増殖学科の林 健一教授に深謝の意を表す。又採集および標本の調査に多大な御協力を頂いた関係機関の方々に厚く御礼申し上げる。

## 参 考 文 献

- 1) 阿部晃治 (1981). 日本初記録の *Cancer magister* Dana ホクヨウイチョウガニ (新称). 甲殻類の研究, 11: 13-16.
- 2) AIZAWA, Y. (1974). Ecological studies of micronectonic shrimps (Crustacea, Decapoda) in the western north Pacific. *Bull. Ocean. Res. Inst., Univ. Tokyo*, 6: 1-84.
- 3) BABA, K., HAYASHI, K. and TORIYAMA, M. (1986). Decapod crustaceans from continental shelf and slope around Japan. *Jpn. Fish. Resource Conserv. Assoc.*, 336 pp.
- 4) DOFLEIN, F. (1902). Ostasiatische Dekapoden. *Abh. Bayer. Akad. Wiss.*, 21: 613-670.
- 5) HANAMURA, Y. (1986). Records of pasiphaeid shrimp *Leptocheila* (Decapoda; Caridea; Pasiphaeidae) from northern Japan. *Bull. Coll. & Sci. Sapporo, Tokai Univ.*, 5: 79-83.
- 6) HAYASHI, K. (1977). Studies on the hippolytid shrimps from Japan. VI. The genus *Spiroptocaris* Bate. *J. Shimonoseki Univ. Fish.*, 25: 155-186.
- 7) HAYASHI, K. (1979). Studies on the hippolytid shrimps from Japan. VII. The genus *Hep-tacarpus* Holmes. *J. Shimonoseki Univ. Fish.*, 28: 11-32.
- 8) HAYASHI, K. (1988). Speciefic status of *Pandalus gracilis* (Decapoda, Caridea, Pandalidae). *Nippon Suisan Gakkaishi*, 54(1): 71-75.

- 9) 林 健一 (1990). 日本産エビ類の分類と生態 (54). オキエビ科—トサカオキエビ属, シラエビ類, (1). 海洋と生物, **69** : 304-305.
- 10) HAYASHI, K. (1992). Studies on the hippolytid shrimps from Japan. VIII. The genus *Lebbeus* White. *J. Shimonoseki Univ. Fish.*, **40** : 107-138.
- 11) HAYASHI, K. and CHIBA, T. (1989). *Heptacapus igarashii* sp. nov. from northern Japan (Crustacea, Caridea, Hippolytidae). *Bull. Biogeogr. Soc. Jpn.*, **44** : 71-76.
- 12) 北海道立函館水産試験場 (1986). 昭和61年冬・春季胆振太平洋沿岸に大量出現したオオズワイガニについて, 北海道立函館水産試験場・同室蘭支場 (普及資料), 18 pp.
- 13) IGARASHI, T. (1969). A list of marine decapod crustaceans from Hokkaido, deposited at the Fisheries Museum, Faculty of Fisheries, Hokkaido University I. Macrura. *Contrib. No. 11, Fish. Mus., Fac. Fish., Hokkaido Univ.*, 15 pp., 20 pls.
- 14) IGARASHI, T. (1970). A list of marine decapod crustaceans from Hokkaido, deposited at the Fisheries Museum, Faculty of Fisheries, Hokkaido University II. Anomura. *Contrib. No. 12, Fish. Mus., Fac. Fish., Hokkaido Univ.*, 15 pp., 9 pls.
- 15) IGARASHI, T. (1970). A list of marine decapod crustaceans from Hokkaido, deposited at the Fisheries Museum, Faculty of Fisheries, Hokkaido University III. Brachyura. *Contrib. No. 13, Fish. Mus., Fac. Fish., Hokkaido Univ.*, 28 pp., 10 pls.
- 16) IGARASHI, T. (1971). Further additions to "A list of marine decapod crustaceans from Hokkaido, deposited at the Fisheries Museum, Faculty of Fisheries, Hokkaido University" (I). *Contrib. No. 14, Fish. Mus., Fac. Fish., Hokkaido Univ.*, 6 pp., 4 pls.
- 17) 市川純彦・山田真弓 (1957). 忍路湾附近海産無脊椎動物目録. 北海道大学理学部.
- 18) 上田常一 (1961). 日本淡水エビ類の研究. 園山書店, 186 pp.
- 19) KOMAI, T. (1991). Deep-sea decapod crustaceans from the Pacific coast of eastern Hokkaido, northern Japan (Crustacea, Decapoda, Penaeidea and Caridea). Report of Morth Japan Subcommittee for Bottom Fish, Research Committee for Fishery Resources. (北日本底魚部会報), **24** : 55-96.
- 20) KOMAI, T. and AMAOKA, K. (1989). Records of some rare deep-sea decapod crustaceans from the Okhotsk coast of Hokkaido (Caridea and Anomura). *Bull. Fac. Fish., Hokkaido Univ.*, **40** : 278-291.
- 21) KOMAI, T. and AMAOKA, K. (1991). A new species of the genus *Sclerocangon* from Urup Island, Kurile Islands and east of Hokkaido (Crustacea, Decapoda, Crangonidae). *Proc. Jpn. Soc. Syst. Zool.*, **44** : 26-37.
- 22) KONISHI, K. (1977). On three species of the pinnotherid crabs from Hokkaido, Japan. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **20** : 605-610.
- 23) KONISHI, K. (1983). Larvae of the pinnotherid crabs (Crustacea, Brachyura) found in the plankton of Oshoro Bay, Hokkaido. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **23** : 266-295.
- 24) 久保伊津男 (1965). 十脚目, 長尾類 (Macrura). 新日本動物図鑑, 中巻, 591-629, 北隆館.
- 25) 倉田 博 (1965). 北海道産十脚甲殻類の幼生期. 9. Axiidae, Callianassidae および Upogebiidae (ANOMURA). 北水研報, **30** : 1-10.
- 26) 丸山秀佳・小西光一 (1979). 北海道オホーツク海沿岸域におけるカクレガニの分布について. 北水試月報, **36** : 201-208.
- 27) 益田 一・林 公義・中村宏治・小林安雅 (編) (1986). フィールド図鑑—海岸動物. 東海大学出版会, 255 pp.
- 28) 馬渡峻輔・小西光一・干川 裕・石丸信一・桑原康裕・佐藤友美 (1985). 木古内臨海実験所附近の海産無脊椎動物相 1. 多板殻綱, 腹足綱, 二枚貝綱 (軟体動物), および端脚目, 十脚目 (節足動物・甲殻綱). 生物教材, **19/20** : 1-10.
- 29) 馬渡峻輔・久保田信・小西光一・佐藤友美・桑原康裕・山田真弓 (1988). 木古内臨海実験所附近の海産無脊椎動物相 2. ヒドロ虫綱 (腔腸動物), ウミグモ綱, 十脚目 (節足動物) および腹足綱, 二枚貝綱 (軟体動物). 生物教材, **22** : 1-12.
- 30) MIYAKE, S. (1957). Anomuran decapod fauna of Hokkaido, Japan. *J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. VI, Zool.*, **13** : 85-92.
- 31) 三宅貞祥 (1982). 原色日本大型甲殻類図鑑 (I). 保育社, i-vii, 261 pp.
- 32) 棟方明陽 (1982). 北海道教育大木古内臨海実験所附近海辺の動物相. 生物教材, **17** : 23-29.

- 33) 西村茂喜 (1939). 北海道及び北千島近海産蝦蟹類. 水産研究誌, 34 : 382 - 385.
- 34) 岡田 雋・五十嵐孝夫・小林喜雄 (1971). 忍路湾附近の無脊椎動物及び魚類. 日本プランクトン学会報, 18 : 59 - 72.
- 35) 奥田四郎・山田真弓 (1955). 北日本海産無脊椎動物. 北海道教育評論社, 189 pp.
- 36) 大島和雄 (1963). 北海道有珠湾の生態学的研究. 第1報 底質と採集動物. 北水研報, 27 : 32 - 51.
- 37) RATHBUN, M. J. (1902). Japanese stalk-eyed crustaceans. *Proc. U.S. Natn. Mus.*, 26 : 23-55.
- 38) SAKAI, K. (1969). Revision of Japanese callianassids based on the variations of larger cheliped in *Callianassa petalura* Stimpson and *C. japonica* Ortmann (Decapoda : Anomura). *Publ. Seto mar. biol. Lab.*, 17 : 209-252.
- 39) STIMPSON, W. (1860). Prodromus descriptionis animalium evertibratorum, quae in Expeditione ad Oceanum Pacificum Septentrionalem, a Republica Federata missa. *Proc. Acad. Nat. Sci. Philadelphia*, 1860 : 22-48.
- 40) 酒井 恒 (1976). 日本産蟹類. 講談社, 773 pp.
- 41) 高橋和寛・宮本建樹・水島純雄・伊藤雅一 (1985). 忍路湾の磯浜に生息するカニ類の生態. 北水試報, 27 : 71 - 89.
- 42) 武田正倫・林 浩之 (1990). 道東太平洋岸産の異尾, 短尾甲殻類の生物地理. 日本生物地理学会報, 45 : 51 - 59.
- 43) TAKEDA, M., MARUYAMA, S. and KONISHI, K. (1991). Taxonomical and biogeographical notes on *Sakaina yokoyai* (Glassell) from Northern Japan (Crustacea : Decapoda : Pinnotheridae). *Bull. biogeogr. Soc. Jpn.*, 46 : 89-95.
- 44) UCHIDA, T., YAMADA, M., IWATA, F., OGURO, C. and NAGAO, Z. (1963). The zoological environs of the Akkeshi Marine Biological Station. *Publ. Akkeshi Mar. Biol. Sta.*, 13 : 1-36.
- 45) 内田 亨・岩田文男・長尾 善 (1972). 海中公園センター調査報告. 6. 積胆半島海中公園候補地の無脊椎動物. 積胆半島・小樽海岸海中公園調査報告書, 北海道, 27 : 71 - 89.
- 46) URITA, T. (1941). One new shrimp of the genus *Pandalopsis* found in Hokkaido, Japan. *Zool. Mag.*, 53 : 12-16.
- 47) YOKOYA, Y. (1933). On the distribution of decapod crustaceans inhabiting the continental shelf around Japan, chiefly based upon the materials collected by S. S. Soyo Maru, during the years 1923-1930. *J. Coll. Agr. Tokyo Imp. Univ.*, 12 : 1-22.